

に罷成候而は、取返候儀成兼申事故、僉議之趣申聞事に候。尙更其方中存寄有之候者、幾重にも可承之候條、不及申無遠慮可被申聞事。

巳八月

改作奉行 印
三人方

一一五 御郡皆濟等褒美之事

御領國一番皆濟

例年 銀五枚 納二端

御郡一番皆濟

例年 銀三枚 納二端

七ヶ年續け大組

小判三兩 納三端

九ヶ年續け小組

小判三兩 納二端

相並銀三枚充

例年御扶持人 銀三枚充

半口相勤候者 銀二枚充
新開など支配仕者 納二端充

五ヶ山支配 田中村彌右衛門 和泉村彦三郎

氷見庄支配 開發村源内 下條村八郎右衛門

又改作支配 嶋尻村刑部

右五人十村に加り支配仕に付納三端被下。

芹谷村支配 戸出村又四郎銀二枚

一一六 田成及び畠折之事

田成畠折之法

一、百姓居屋敷・同廻堀・竹藪・森・なはた・大根・麻・からむし・かうす・菅・藺・稗田・ねぶか、右之内に而も散々に有之時は、折畠に成。但、桑・かうすは少に而も田成に成。

一、畑折は、懸る共付る共唱可申候。

一、折と申言葉、他國にも有之候哉と尋候へ共、聞傳申者無之候。

一、百姓居屋敷、并同廻り堀・茶畑・大根畠・麻からむし畑・桑・茶畑・漆木畑・豆畑・瓜茄子牛蒡畑・菅藺たばこねぶか畑・

種池・布さらし場、此分田成に仕、折懸り不申候。此子細は居屋敷・布晒場之外、作物賣拂候得ば田成作徳に及申程有之候。其上百姓食物に者、開勝手能御座候故、去年より右作物田成に罷成、折は懸り不申候。

一、粟畑・稗畑・蕎麥大豆畑・小豆畑・さげ畑、此分折を付申候。此子細は、上畠に而無之に付、作物少く作徳少く、勝手悪敷御座候而、田成難及に付、二つより七つ迄去年より折懸申候。右畑所、植物に而折懸畑と折懸不申畑と書分申分如是。併田成難及に付、二つより七つ迄去年より折懸り申候。

右畑所、植物に而折懸り申畑と折懸不申畑と書分申分如此。併田成畑折之懸り不申作物、依土折懸り申品も有之、又折之懸不申畑も有之候。又折之懸不申作物之内、土目により折懸り不申畑有之候。大概作物に而品分申候へば如此也。

上田三百歩一反、米二石出来にして、一步に六合六勺七才取出來圖り也。

一、四俵一斗上田三百五十歩、但百姓作徳共に。

中田三百歩一反、米一石五斗出来にして一步に五合充。中田四百二十歩、但百姓作徳共に。
下田三百歩一反米、一石三斗出来にして一步に四合三勺三才。

下田四百八十五歩、但百姓作徳共。

右歩高三口〆千二百廿歩、但三つに折四百六分七厘。

一、四俵一斗、内右上中下歩高折合四百六分七厘、三ヶ二田の歩高二百七十一歩一厘、一俵二斗。上畠百十六歩六厘、但百歩に付麻苧二貫五百目代二十四匁五分、大根代三十目、二口〆五十四匁五分之内、三十目こえ代、殘而二十四匁、石四十目にして米六斗。中畠百五十五歩六厘、但百歩に付大豆三升、石四十目米にして三升代十二匁、麥三斗代六匁、二口〆二十目八分、内五匁こえ代引、殘而十五匁。米直段石四十目にして三斗九升五合。(私云下畠歩數落る懸)

右歩高三口〆四百四十九歩四厘。但三つ折にして百四十九歩八厘、三ヶ二田歩二百七十一歩一厘、二口〆四百二十歩九厘。

一、四俵一斗、内一俵二斗、右田折合歩四百六歩七厘、三